

令和 2 年 度

# 事業報告及び決算報告

自 令和 2 年 4 月 1 日

至 令和 3 年 3 月 31 日

公益財団法人 愛知県国際交流協会

# 目 次

事業報告 .....	1
決算報告 .....	1 3

# 事業報告

(公財) 愛知県国際交流協会は、国際交流を通じて県民の国際的視野を広め、本県の国際的地位の向上に供するため、県、市町村、市町国際交流協会、民間国際交流団体及び関係機関と一体となって国際交流・国際協力活動や、外国人も地域社会で安心して暮らせる多文化共生の地域づくりの推進に努めた。

事業の実施にあたっては、国際交流団体交流室、研修室、アイリスルーム、図書コーナー、新聞・雑誌コーナーなどの施設を有する「あいち国際プラザ」を有効に活用し、県民参加型の国際交流の推進を図るとともに、あいち多文化共生センターにおいて多文化ソーシャルワーカーによる多言語での相談対応や情報提供を実施した。

## 1 国際交流・国際協力活動の推進

### (1) 国際交流イベントの開催

国際交流・国際協力・多文化共生に関する県民意識の高揚を図るため、(独)国際協力機構中部国際センター及びなごや国際交流団体協議会と協働して、国際交流イベント「ワールド・コラボ・フェスタ2020」を令和2年12月12日から令和3年1月11日の期間、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、バーチャル（オンライン）で開催した。

開催期間	内 容	出展・出演団体	閲覧回数
令和2年12月12日～ 令和3年1月11日	○ワールドステージ 世界の文化や地球の現状を動画で紹介 ○コラボ広場 国際交流・協力団体の活動を動画や写真などで紹介 ○セミナー・ワークショップ 国際交流・協力、多文化共生に関するセミナーやワークショップを開催	26団体	約50,000回

※出展・出演団体にはワールド・コラボ・フェスタ主催団体を含まない。

### (2) フェアトレードの普及啓発事業の実施

国際協力活動の一つであるフェアトレードを紹介し、県民が途上国の貧困や人権・環境問題など地球の課題や解決方法を知り、考え、国際協力活動へのきっかけづくりとなる場を提供する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

開催予定日	内容	講師	参加者数
令和2年6月6日	フェアトレード講座2020 「バナナの紙ってなあに？アフリカの人と野生動物を守り、持続可能な未来をつくる」	株式会社ワンプラネット・カフェ 代表取締役社長 エクベリ聡子氏	—

### (3) ボランティア登録制度の運営

県民参加による国際交流等を推進するため、ボランティアの募集・登録を行い、積極的活用を図った。

【ボランティア登録者数】 (令和3年3月31日現在)

ボランティアの区分	登録者数(延べ)
語学ボランティア (21言語)	270名
ホームステイ・ホームビジットボランティア	70名
サポートボランティア	205名
合計	545名

### 【ボランティアの活動】

区分	内容	参加者数(延べ)
語学(通訳)	トルコ人児童への日本語学習支援 始め6件	6名
語学(翻訳)	2020年 日本語教室カレンダー 始め4件	7名
サポート	あいち国際プラザ日本語教室 始め3件	552名

### (4) 国際交流推進功労者の表彰

国際交流や多文化共生の地域づくりの推進に顕著な功績のある個人・団体を表彰した。

開催日	表彰の種類	被表彰者数
令和2年11月4日	会長表彰	3名 7団体

### (5) 市町村・市町国際交流協会及び民間国際交流団体等への支援

県内における幅広い国際交流の推進を図るため、国際交流団体等の行う国際交流に関する行・催事に対し、共催、後援、補助金の交付など、積極的な支援を行うとともに、民間国際交流団体を支援するため、団体の行う各種行事の打合わせ、準備作業及び団体間の情報交換等の場として国際交流団体交流室を提供した。

さらに、民間国際交流団体等との共催で講座やワークショップ、パネル展等を

開催し、外国文化や時事問題について理解を深めるための事業を実施した。

【後援事業及び補助事業】

区分	内 容
後援事業	第189期ロシア語講座 始め10件
補助事業	第16回愛知県ティーボール大会 始め17件 (うち10件が新型コロナウイルス感染症の影響により中止)

【民間国際交流団体との共催】

共催団体	内 容
(特活) 愛・知・みらいフォーラム 始め2団体	「2020年度 講師・学校担当者交流会」 始め2事業 (講座)

(6) ブラジル・アルゼンチン愛知県人会との連携・支援

海外移住先国のブラジル・アルゼンチン愛知県人会を通じて、移住者の自立支援のための相談等を行うとともに、日本にいる移住者の家族に対して情報提供を行った。

(7) 外国公館等との共催事業の実施

この地域で国際交流活動を行う団体や外国公館等と共催で、講座やパネル展等を開催することにより、地域の国際交流、国際理解の推進を図ることを目的とする事業であるが、令和2年度はパネル展示を実施し、外国公館等との共催事業は実施がなかった。

(8) 国際交流・国際協力活動の支援事業の実施

海外の学校と日本の学校で交流事業を行うことにより、相互の文化への理解を深めるとともに、若者が国際交流への関心を持つきっかけとする事業で、フランスの高校と交流をする予定であったが新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

(9) 国際貢献支援事業の実施

県内における国際協力を推進するため、国際的に緊急かつ深刻な貧困、災害等の諸問題を抱えた地域を対象に、必要に応じて義援金、緊急物資などを供与する事業であるが、令和2年度は対象となる事業がなかったため、活動実績がなかった。

## 2 多文化共生の地域づくりの推進

### (1) 多文化ソーシャルワーカーによる相談・情報提供及び支援の充実

外国人県民が日本人と同じ制度やサービスを利用でき、本県で安心して暮らすことができるよう、多文化ソーシャルワーカーが日常生活に必要な情報を多言語で提供するとともに、複雑な問題を抱える相談者に対しては、関係する市町村の各種窓口や専門機関と連携しながら、問題解決に向けた自立支援までを継続的に行った。なお、相談は、日本語、ポルトガル語、スペイン語、英語、中国語、フィリピン語／タガログ語、ベトナム語、ネパール語、インドネシア語、タイ語、韓国語、ミャンマー語の12言語で対応した。

また、専門的なアドバイスが必要な問題を抱える外国人を対象に、無料の弁護士相談（ポルトガル語・スペイン語・英語・中国語、フィリピン語／タガログ語、ベトナム語に対応）を実施するとともに、名古屋出入国在留管理局や愛知労働局、愛知県との連携により在留関係、労働関係、消費生活関係の専門相談（上記12言語で対応）を実施した。

#### 【相談・情報提供等】

（単位：件）

相談言語	多文化ソーシャルワーカーによる 相談・情報提供及び支援					在留 相談	労働 相談	消費 生活 相談	弁護士 相談	合計
	情報 提供	継続 支援	傾聴	翻訳 通訳	小計					
日本語	1,276	1	4		1,281	7	1	0	11	1,300
ポルトガル語	532	4	3	134	673	3	2	0	34	712
スペイン語	143	1	3	65	212	0	2	0	5	219
英語	160	1	1	44	206	1	2	1	9	219
中国語	47	0	0	54	101	1	1	0	10	113
フィリピン語 /タガログ語	58	0	0	33	91	7	0	2	8	108
ベトナム語	31	1	0	41	73	1	0	0	3	77
ネパール語	19	0	0	29	48	2	0	0		50
インドネシア語	3	0	0	25	28	0	0	0		28
タイ語	2	0	0	27	29	0	0	0		29
韓国語	4	0	0	36	40	0	1	0		41
ミャンマー語	0	0	0	8	8	0	0	0		8
合計	2,275	8	11	496	2,790	22	9	3	80	2,904

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年4月16日から10月3日まで、及び令和3年1月20日から2月27日までの間、対面による相談を中止し、電話及びEメールでの相談対応とした。

さらに、日頃から外国人県民に対する相談・情報提供及び支援活動に関わる相談担当者の資質向上を図るとともに、情報交換とネットワーク作りの場を提供し、県内各地域において有益な外国人向け相談業務が行われるようにするため、外国人相談窓口及び各種専門機関等の相談員向け研修会を、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンラインで開催した。

開催日	テーマ	参加者数
令和3年1月21日	講演「外国人相談のための『改正入管法』の基礎知識」 講師：川上弘晃氏（名古屋出入国在留管理局審査管理部門 受入環境調整担当統括審査） 講演「『身分に基づく在留資格』についての相談ポイントと注意点」 講師：金恩瑩氏（Office KIM 金行政書士事務所代表）	22名

#### (2) 外国人相談担当者向け対応ハンドブックの作成

外国人県民がより充実した行政サービスを受けることができるようにするため、当協会に寄せられた相談事例等をもとに、外国人特有の問題やその背景となる各国事情、相談対応のポイント等を含めた相談対応冊子「相談員のための多文化ハンドブック＝子どもの教育編＝」を2,200部作成し、県及び市町村教育委員会、市町村・市町国際交流協会等の相談窓口へ配布した。

#### (3) 県民の多文化共生社会づくりへの理解促進

県民に身近な話題を使って異なる文化に触れ、多文化共生に興味を持ってもらい、多文化共生の地域づくりにつながるイベントを、新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンラインで開催した。

開催日	内容	参加者数
令和2年12月19日	「多文化共生理解講座」 多文化的な背景及び経験を持つ講師に、それぞれのルーツや経験を交えながら、幅広く話してもらい「多文化共生社会」について理解を深めてもらう機会を提供した。 講師：愛知県国際交流員 ハマテ・ユカ氏 元愛知県国際交流員 ソーキン・リア氏	25名

#### (4) 災害時のための体制づくり事業の実施

災害時に、外国人被災者を直接支援する県内市町村に対し、情報提供や通訳・翻訳などの言語面での支援をするために愛知県が設置し、県と協会が共同で運営する「愛知県災害多言語支援センター」について、県、市町村との共同で、訓練を実施した。

また、災害発生時には、当協会のあいち多文化共生センターに対する相談が集中することが予想されることから、相談対応や災害時のセンター運営等に向けたボランティアのための研修を、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンラインで開催した。

開催日	内 容	参加者数
令和3年1月23日	災害ボランティア研修会 講師：譚 俊偉（たん しゅんわい）氏 （岡山県総社市 人権・まちづくり課 国際交流推進係）	15名

さらに、実際に起こりうる相談・情報提供、翻訳などの活動を想定した実践的な訓練も行った。

開催日	内 容	参加者数
令和3年2月27日	災害時における外国人相談対応訓練 ・Zoomを使用した遠方のボランティアとの連絡訓練 ・外国人からの電話相談対応訓練 ・避難所からの翻訳依頼対応訓練	14名

#### (5) 外国人児童生徒向け日本語教室への支援\*

外国人児童生徒の日本語学習環境の充実を図るため、地域のNPOなどが実施する外国人児童生徒のための日本語教室に対し、教室運営に必要な経費の一部を助成した。

事 業 名	実 績
日本語教室学習支援事業	認定：名古屋 YWCA グローバルスクール 始め 53 団体 92 教室 延べ学習者数：7,839

#### (6) 外国人学校での日本語指導への支援\*

外国人学校の外国人児童生徒に質の高い日本語学習環境を提供するため、外国人児童生徒の日本語学習に必要な日本語学習教材を整備するための費用の一部及び日本語指導者の雇用に必要な経費の一部を助成した。

事 業 名	実 績
日本語指導者雇用助成事業	日本語指導者雇用に係る助成： エスコラ パウロ フレイレ瀬戸始め 4校
日本語学習教材給付事業	対象：4校 給付教材数：389冊

#### (7) 外国人児童生徒の日本語能力試験受験への助成\*

日本語学習支援基金の助成対象日本語教室及び助成対象外国人学校で学ぶ外国人児童生徒が意欲を持って日本語学習に取り組めるようにするため、(公財)日本国際教育支援協会等が実施する日本語能力試験を受験し合格した場合、当該受験



料相当額を助成した。(新型コロナウイルスの影響により7月の第1回試験は中止となったため、12月の第2回試験分のみ助成した。)

助成先	実績
日本語教室	助成先：5団体、助成対象者：28名
外国人学校	助成先：1校、助成対象者：2名

※(5)～(7)は、企業・個人からの寄付金及び愛知県からの出せん金により造成された「日本語学習支援基金」で行った。

#### (8) プラザにほん語教室の開催

日本語ボランティア入門講座及び日本語ボランティアゼミナール修了生の実地研修の場として、日本語教室を開催し、外国人の日本語学習支援を行った。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、第1期及び第3期を中止した。

開催(予定)期間	曜日及び時間	ボランティア数	学習者数
第1期 4～7月 (中止)	火曜日13:30～15:00	55名	—
第2期 10～12月	金曜日13:30～15:00, 19:00～20:30		68名
第3期 1～3月 (中止)	土曜日10:30～12:00, 14:00～15:30		—

#### (9) 先進的な日本語教育の取組等による日本語教室への支援

日本語教室で活動している日本語ボランティアを対象に、日本語がほとんど話せない外国人県民への日本語指導講座を、新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンラインで開催した。

事業名	開催日	テーマ等	参加者数
「初めて習う日本語」の教え方	令和2年11月4日、11月18日、12月2日	「Can-do statementsを使った教室活動」等	延べ39名

### 3 国際化の推進役となる人材の育成

#### (1) 国際交流・多文化共生コーディネーター講座の開催

市町村・市町国際交流協会等の職員を対象に、地域の国際交流、国際協力活動を推進し、多文化共生社会実現の担い手となる人材育成を目的として日常業務のスキルアップを図るための講座を、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンラインで開催した。

開催日	内 容	講師	参加者数
令和2年12月10日	講演： ①「Zoomを使いこなす！ 基礎～応用まで」 ②「事例発表 Zoomを使 った日本語教室」	講師： ①Zoom Video Communications 日本支社 竹倉 勇氏 ②ALOE 代表 石川 桂子氏 IT担当 土井 和氏	72名

## (2) ボランティア研修の実施

当協会及び市町村・市町国際交流協会のボランティアに対して、ボランティア活動を行うにあたっての語学勉強会や国際理解を深めるための講座を、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンラインで開催した。

開催日	内 容	講師	参加者数
令和3年2月8日	フランス語講座 「フランス文化とはじめてのフランス語」	西野オーレリー (南山大学等講師)	18名
	フランス語講座 「フランス語スキルアップ講座」		9名

## (3) 英語勉強会の開催

当協会の登録ボランティアを対象に、英語力研鑽のための勉強会を、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンラインで開催した。

開催日	内 容	参加者数
令和3年1月30日、2月13日、3月13日	英語勉強会（ボランティア通訳）	延べ33名

## (4) 通訳翻訳講座の開催

語学ボランティア活動や小中学校において必要なフィリピン語についての講座をオンラインで開催する予定であったが、講師都合により中止した。

開催予定日	内容	講師	参加者数
令和3年2月17日	フィリピン入門講座 (教育事情)	講師：伊藤クリスティーナ氏 (通訳・翻訳人)	—

## (5) やさしい日本語講座の開催

日本語教室のボランティアや、市町村の窓口担当者向けに、日本語教室や市町村の窓口等で外国人県民と接する際に活用できるようにすることを目的とし、外国人に必要な情報をやさしい日本語でわかりやすく伝えるスキルを学ぶ講座を、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンラインで開催した。

回数	開催日	内 容	講師	参加者数
第1回	令和3年2月12日	わたしたちの身近な日本語をみつめなおす	愛知県立大学 外国語学部 教授 東 弘子氏	延べ 103名
第2回	令和3年2月19日	相手に伝わる表現の工夫		
第3回	令和3年2月26日	もっとチャレンジ～これからも考え続けよう～		

(6) 「自分の未来を描くユース会議」の開催

世界的な視野で活躍する「グローバル人材」を目指す若者を支援するため、世界の第一線で活動する豊かな見識を持つ方々から助言等をいただき、自らの成長の契機とするため開催を検討したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

(7) 子ども向け日本語教室等で活動するボランティアの養成講座の開催

日本語ボランティア未経験者及び初心者向けに、外国人住民や外国人児童生徒の現状や課題、日本語ボランティアとはどのような活動なのか、またその支援内容や教え方などを学ぶ講座を開催した。

開催地	開催日	内 容		参加者数
豊田市※	令和2年 11月6日 11月13日 11月20日	1日目 (大人 向け)	講義①「地域の外国人の現状」 講義②「地域の日本語教室とは」 活動報告「地域の日本語教室のことを知ろう」	延べ 58名
		2日目 (子ども 向け)	講義①「外国につながりを持つ子どもたち」 講義②「子ども向け日本語教室とは」 活動報告「地域の日本語教室のことを知ろう」	
		3日目 (混合)	ワークショップ 「大人向けの教え方」・「子ども向けの教え方」 「今後の活動に向けて」	
武豊町※	令和2年 11月29日 12月6日 12月13日	上記豊田市と同プログラム		延べ 62名

※3(11)の大人向け日本語教室で活動するボランティアの養成講座と同時開催

(8) 子ども向け日本語教室で活動するボランティア向けスキルアップ研修の開催

現在子ども向け日本語ボランティアとして活動しているボランティア及び外国人児童生徒に携わっている学校関係者を対象に、日々の活動における疑問点や悩みを解決し、役立つ知識やスキルを身に付けるためのスキルアップ研修を、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンラインで開催した。

開催地	開催日	テーマ	参加者数
名古屋市	令和3年2月5日	日本語ゼロレベルの子どもたちの初期指導	24名
知多市	令和3年1月30日	外国人児童生徒のこころのケア	32名

(9) 外国人児童生徒及び保護者のための教育相談会の開催

外国につながりを持つ子どもとその保護者を対象に、日本で進学・就職する上で必要な教育制度や進路選択等についての情報を提供する進路説明会を新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンラインで開催した。

開催地	公開期間	内 容	視聴回数
大府市	令和2年 10月26日～ 11月30日	講義「日本の教育・進路について」 講義「大府市内の子どもたちの進路について」 高校の先生へのインタビュー 体験談発表	延べ 687回
豊川市	令和2年 10月26日～ 令和3年 1月4日	講義「日本の教育・進路について」 講義「豊川市内の子どもたちの進路について」 体験談発表	延べ 261回

(10) 地域において外国人児童生徒の学習支援を推進するコーディネーター育成※

市町村や市町国際交流協会の多文化共生事業担当職員、教育委員会職員及び教員等を対象に、外国人児童生徒の学習支援活動の充実に向け、地域において外国人児童生徒の学習支援活動を推進するコーディネーターを養成する講座を開催する計画であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

※本事業は、企業・個人からの寄付金及び愛知県からの出えん金により造成された「日本語学習支援基金」対象事業

(11) 大人向け日本語教室で活動するボランティアの養成講座の開催

多文化共生社会の実現に向けた日本語教室のあり方を、ボランティア等に理解してもらい、より意義のある活動につながるよう各種講座を実施した。

開催地	事業名	開催日	テーマ等	参加者数
名古屋市	日本語ボランティア入門講座	令和2年10月1日 ～11月19日 (全8回)	「日本語ボランティアの役割」等	延べ 167名
豊田市*	日本語ボランティア入門講座in豊田市*	令和2年11月6日、11月13日、11月20日	「地域の外国人の現状」等 (1日目:大人向け、2日目:子ども向け、3日目:混合)	延べ 58名
武豊町*	日本語ボランティア入門講座in武豊*	令和2年11月29日、12月6日、12月13日	上記豊田市と同プログラム	延べ 62名

※3(7)の子ども向け日本語教室で活動するボランティアの養成と同時開催

#### (12) 大人向け日本語教室で活動するボランティアのスキルアップ講座の開催

地域の大人向け日本語教室で活動するボランティアを対象に、日本語教授法の更なる技術向上を目的とした講座を開催した。

事業名	開催日	テーマ等	参加者数
日本語ボランティアスキルアップ講座	令和2年10月26日、11月9日 (全2回)	プロに学ぶ! どう教える! ? ～「自動詞・他動詞」と「使役・受身・使役受身」～	延べ 43名

## 4 国際化に関する調査研究・情報提供

### (1) 調査研究等の実施

県内の民間国際交流団体の活動状況や、国際交流に関する基礎的情報を盛り込んだ「国際交流ハンドブック」を1,000部作成し、配布した。

### (2) 国際交流協会活動推進会議の開催

国際交流の推進を図るため、県内市町国際交流協会と活動推進会議を開催し、情報交換等を行った。なお、新型コロナウイルスの影響により開催を1回とし、国際課と共催で開催する市町村・市町国際交流協会連絡会議は中止となった。

開催日	会議等名称	内容	出席者
令和2年12月10日	国際交流協会活動推進会議	「令和2年度の各ブロック会議の報告」等	県内各市町国際交流協会職員

(3) インターネット等を活用した情報の提供

ホームページ（通称i-net）を作成し、国際交流に関する各種情報を日本語、ポルトガル語、スペイン語、英語、中国語、韓国語で、あいち多文化共生センターに関する情報を上記言語に加え、フィリピン語／タガログ語、ベトナム語、ネパール語、インドネシア語、タイ語、ミャンマー語で提供した。

また、機関誌を作成し、協会の活動内容や国際交流関係情報等の広報を行った。

機関誌名	発行回数	発行時期	部数	配布先
あいち国際プラザ	6回	奇数月	各10,000部	協会賛助会員、民間国際交流団体、市町村・協会など

(4) 図書コーナーでの情報・資料の提供

国際交流に関する様々な図書・資料を収集し、図書コーナーにおいて貸出又は閲覧に供した。

また、近年アジア系の外国人住民が増加していることからアジア系の図書を充実させた。

なお、図書コーナーは新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月2日から5月31日まで利用を休止し、新聞・雑誌コーナー及びビデオコーナーは現在も利用を休止している。

区 分	図書コーナー	新聞・雑誌、 ビデオコーナー	貸出冊数
利用者数等	2,976名	0名	939冊

(5) 多言語による生活情報の提供

外国人県民の生活利便の向上を図るため、在留手続き、労働、医療・年金・福祉、教育、税金等、日本で生活する上で必要な情報を集めた冊子「愛知生活便利帳」（英語・中国語・日本語併記）を1,100部を作成し、来訪者や市町村相談窓口等の関係団体に配布した。

# 決算報告

## 貸借対照表

令和3年3月31日現在

公益財団法人 愛知県国際交流協会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
<b>1 流動資産</b>			
現金預金	23,828,029	26,672,164	△2,844,135
未収金	325,543	98,900	226,643
前払金	41,250	69,450	△28,200
流動資産合計	24,194,822	26,840,514	△2,645,692
<b>2 固定資産</b>			
(1) 基本財産			
投資有価証券等	314,595,000	314,595,000	0
基本財産合計	314,595,000	314,595,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	26,585,329	22,709,689	3,875,640
国際貢献支援事業特定資産	1,835,180	1,835,382	△202
日本語学習支援基金事業特定資産	29,301,093	53,153,564	△23,852,471
特定資産合計	57,721,602	77,698,635	△19,977,033
(3) その他の固定資産			
什器備品	2,611,377	2,693,772	△82,395
電話加入権	1,148,040	1,148,040	0
その他の固定資産合計	3,759,417	3,841,812	△82,395
固定資産合計	376,076,019	396,135,447	△20,059,428
資 産 合 計	400,270,841	422,975,961	△22,705,120
<b>II 負債の部</b>			
<b>1 流動負債</b>			
未払金	23,586,073	26,308,998	△2,722,925
預り金	404,164	518,516	△114,352
前受金	9,000	13,000	△4,000
流動負債合計	23,999,237	26,840,514	△2,841,277
<b>2 固定負債</b>			
退職給付引当金	26,585,329	22,709,689	3,875,640
固定負債合計	26,585,329	22,709,689	3,875,640
負 債 合 計	50,584,566	49,550,203	1,034,363
<b>III 正味財産の部</b>			
<b>1 指定正味財産</b>			
寄付金	345,731,273	369,583,946	△23,852,673
指定正味財産合計	345,731,273	369,583,946	△23,852,673
(うち基本財産への充当額)	(314,595,000)	(314,595,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(31,136,273)	(54,988,946)	△23,852,673
<b>2 一般正味財産</b>			
3,955,002	3,841,812	113,190	
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	349,686,275	373,425,758	△23,739,483
負債及び正味財産合計	400,270,841	422,975,961	△22,705,120

## 貸借対照表内訳表

令和3年3月31日現在

公益財団法人 愛知県国際交流協会

(単位：円)

科 目	公益目的 事業会計	法人会計	内部取引 消去	合 計
<b>I 資産の部</b>				
<b>1 流動資産</b>				
現金預金	20,385,109	3,442,920		23,828,029
未収金	325,543	0		325,543
前払金	41,250	0		41,250
流動資産合計	20,751,902	3,442,920		24,194,822
<b>2 固定資産</b>				
(1) 基本財産				
投資有価証券等	314,595,000	0		314,595,000
基本財産合計	314,595,000	0		314,595,000
(2) 特定資産				
退職給付引当資産	0	26,585,329		26,585,329
国際貢献支援事業特定資産	1,835,180	0		1,835,180
日本語学習支援基金事業特定資産	29,301,093	0		29,301,093
特定資産合計	31,136,273	26,585,329		57,721,602
(3) その他の固定資産				
什器備品	2,611,377	0		2,611,377
電話加入権	1,148,040	0		1,148,040
その他の固定資産合計	3,759,417	0		3,759,417
固定資産合計	349,490,690	26,585,329		376,076,019
資 産 合 計	370,242,592	30,028,249		400,270,841
<b>II 負債の部</b>				
<b>1 流動負債</b>				
未払金	20,532,791	3,053,282		23,586,073
預り金	23,526	380,638		404,164
前受金	0	9,000		9,000
流動負債合計	20,556,317	3,442,920		23,999,237
<b>2 固定負債</b>				
退職給付引当金	0	26,585,329		26,585,329
固定負債合計	0	26,585,329		26,585,329
負 債 合 計	20,556,317	30,028,249		50,584,566
<b>III 正味財産の部</b>				
<b>1 指定正味財産</b>				
寄付金	345,731,273	0		345,731,273
指定正味財産合計	345,731,273	0		345,731,273
(うち基本財産への充当額)	(314,595,000)	(0)		(314,595,000)
(うち特定資産への充当額)	(31,136,273)	(0)		(31,136,273)
<b>2 一般正味財産</b>	3,955,002	0		3,955,002
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)		(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)		(0)
正味財産合計	349,686,275	0		349,686,275
負債及び正味財産合計	370,242,592	30,028,249		400,270,841



### 正味財産増減計算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

公益財団法人 愛知県国際交流協会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
<b>1. 経常増減の部</b>			
<b>(1) 経常収益</b>			
<b>基本財産運用益</b>	2,117,126	2,810,164	△ 693,038
基本財産受取利息	2,117,126	2,810,164	△ 693,038
<b>特定資産運用益</b>	18	18	0
特定資産受取利息	18	18	0
<b>受取会費</b>	2,902,000	2,997,000	△ 95,000
受取会費	2,902,000	2,997,000	△ 95,000
<b>事業収益</b>	30,000	30,000	0
広告料収入	30,000	30,000	0
<b>受取補助金等</b>	151,573,109	145,111,631	6,461,478
県補助金	151,573,109	145,111,631	6,461,478
その他補助金	0	0	0
<b>受取寄付金</b>	24,752,673	28,111,994	△ 3,359,321
受取寄付金	0	0	0
受取寄付金等振替額	24,752,673	28,111,994	△ 3,359,321
<b>雑収益</b>	849,690	1,295,823	△ 446,133
受取利息	2,257	2,050	207
雑収益	847,433	1,293,773	△ 446,340
<b>経常収益計</b>	182,224,616	180,356,630	1,867,986
<b>(2) 経常費用</b>			
<b>事業費</b>	148,212,506	149,782,522	△ 1,570,016
報酬	30,044,043	25,658,240	4,385,803
給料手当	53,636,793	43,950,133	9,686,660
臨時雇用職員賃金	0	9,150,837	△ 9,150,837
福利厚生費	13,621,509	12,946,471	675,038
旅費交通費	2,572,885	2,351,894	220,991
役務費	9,647,201	9,401,152	246,049
減価償却費	742,392	414,889	327,503
消耗什器備品費	1,081,309	1,918,943	△ 837,634
需用費	5,663,121	8,097,114	△ 2,433,993
使用料及び賃借料	3,015,690	3,080,779	△ 65,089
諸謝金	2,252,200	2,762,140	△ 509,940
租税公課	5,800	17,200	△ 11,400
支払負担金	1,811,820	2,071,450	△ 259,630
支払助成金	21,094,643	24,907,560	△ 3,812,917
委託費	3,018,100	3,053,720	△ 35,620
雑費	5,000	0	5,000

科 目	当年度	前年度	増減
管理費	33,864,917	28,177,917	5,687,000
報酬	1,882,800	0	1,882,800
役員報酬	617,330	495,000	122,330
給料手当	17,036,877	16,023,428	1,013,449
退職給付費用	3,875,640	2,296,586	1,579,054
福利厚生費	3,661,920	3,144,796	517,124
旅費交通費	206,760	12,060	194,700
役務費	649,540	83,625	565,915
需用費	2,300	96,730	△ 94,430
光熱水料費	5,851,578	5,919,530	△ 67,952
保険料	34,920	60,910	△ 25,990
雑費	45,252	45,252	0
経常費用計	182,077,423	177,960,439	4,116,984
評価損益等調整前当期経常増減額	147,193	2,396,191	△ 2,248,998
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	147,193	2,396,191	△ 2,248,998
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	34,003	8,502	25,501
経常外費用計	34,003	8,502	25,501
当期経常外増減額	△ 34,003	△ 8,502	△ 25,501
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	113,190	2,387,689	△ 2,274,499
一般正味財産期首残高	3,841,812	1,454,123	2,387,689
一般正味財産期末残高	3,955,002	3,841,812	113,190
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	900,000	816,000	84,000
基本財産受取利息	2,117,126	2,810,164	△ 693,038
特定資産受取利息	18	18	0
一般正味財産への振替額	△ 26,869,817	△ 30,922,176	4,052,359
当期指定正味財産増減額	△ 23,852,673	△ 27,295,994	3,443,321
指定正味財産期首残高	369,583,946	396,879,940	△ 27,295,994
指定正味財産期末残高	345,731,273	369,583,946	△ 23,852,673
III 正味財産期末残高	349,686,275	373,425,758	△ 23,739,483

正味財産増減計算書内訳書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

公益財団法人 愛知県国際交流協会

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計						法人会計	内部取引消去	合計
	国際交流	多文化共生	人材育成	情報提供	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
基本財産運用益	0	0	0	0	2,117,126	2,117,126	0		2,117,126
基本財産受取利息	0	0	0	0	2,117,126	2,117,126	0		2,117,126
特定資産運用益	18	0	0	0	0	18	0		18
特定資産受取利息	18	0	0	0	0	18	0		18
受取会費	0	0	0	0	1,451,000	1,451,000	1,451,000		2,902,000
受取会費	0	0	0	0	1,451,000	1,451,000	1,451,000		2,902,000
事業収益	0	0	0	30,000	0	30,000	0		30,000
広告料収入	0	0	0	30,000	0	30,000	0		30,000
受取補助金等	19,298,808	50,986,275	17,555,776	24,912,759	7,044,352	119,797,970	31,775,139		151,573,109
県補助金	19,298,808	50,986,275	17,555,776	24,912,759	7,044,352	119,797,970	31,775,139		151,573,109
その他補助金	0	0	0	0	0	0	0		0
受取寄付金	202	24,752,471	0	0	0	24,752,673	0		24,752,673
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0		0
受取寄付金等振替額	202	24,752,471	0	0	0	24,752,673	0		24,752,673
雑収益	98,060	112,852	0	0	0	210,912	638,778		849,690
受取利息	0	0	0	0	0	0	2,257		2,257
雑収益	98,060	112,852	0	0	0	210,912	636,521		847,433
経常収益計	19,397,088	75,851,598	17,555,776	24,942,759	10,612,478	148,359,699	33,864,917		182,224,616
(2) 経常費用									
事業費	21,484,133	75,656,013	18,739,683	24,942,759	7,389,918	148,212,506	0		148,212,506
報酬	0	21,467,717	2,934,146	4,507,285	1,134,895	30,044,043	0		30,044,043
給料手当	14,181,012	18,233,996	11,389,664	9,832,121	0	53,636,793	0		53,636,793
福利厚生費	3,263,081	5,680,886	2,196,117	2,481,425	0	13,621,509	0		13,621,509
旅費交通費	22,080	1,799,350	411,595	181,170	158,690	2,572,885	0		2,572,885
役務費	282,445	5,167,808	61,316	2,835,299	1,300,333	9,647,201	0		9,647,201
減価償却費	0	0	0	0	742,392	742,392	0		742,392
消耗什器備品費	0	0	0	210,109	871,200	1,081,309	0		1,081,309
需用費	431,715	1,539,613	375,445	2,038,600	1,277,748	5,663,121	0		5,663,121
使用料及び賃借料	0	52,800	0	2,436,550	526,340	3,015,690	0		3,015,690
諸謝金	430,800	450,000	1,371,400	0	0	2,252,200	0		2,252,200
租税公課	0	0	0	0	5,800	5,800	0		5,800
支払負担金	1,500,000	2,500	0	0	309,320	1,811,820	0		1,811,820
支払助成金	567,000	20,527,643	0	0	0	21,094,643	0		21,094,643
委託費	806,000	733,700	0	420,200	1,058,200	3,018,100	0		3,018,100
雑費	0	0	0	0	5,000	5,000	0		5,000

科 目	公益目的事業会計						法人会計	内部取引消去	合計
	国際交流	多文化共生	人材育成	情報提供	共通	小計			
管理費							33,864,917		33,864,917
報酬							1,882,800		1,882,800
役員報酬							617,330		617,330
給料手当							17,036,877		17,036,877
退職給付費用							3,875,640		3,875,640
福利厚生費							3,661,920		3,661,920
旅費交通費							206,760		206,760
役務費							649,540		649,540
需用費							2,300		2,300
光熱水料費							5,851,578		5,851,578
保険料							34,920		34,920
雑費							45,252		45,252
経常費用計	21,484,133	75,656,013	18,739,683	24,942,759	7,389,918	148,212,506	33,864,917		182,077,423
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,087,045	195,585	△ 1,183,907	0	3,222,560	147,193	0		147,193
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0		0
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0		0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	0		0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0		0
当期経常増減額	△ 2,087,045	195,585	△ 1,183,907	0	3,222,560	147,193	0		147,193
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	0	0		0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0		0
(2) 経常外費用									
固定資産除却損	0	0	0	0	34,003	34,003	0		34,003
経常外費用計	0	0	0	0	34,003	34,003	0		34,003
当期経常外増減額	0	0	0	0	△ 34,003	△ 34,003	0		△ 34,003
他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0		0
当期一般正味財産増減額	△ 2,087,045	195,585	△ 1,183,907	0	3,188,557	113,190	0		113,190
一般正味財産期首残高	-	-	-	-	-	3,841,812	-		3,841,812
一般正味財産期末残高	-	-	-	-	-	3,955,002	-		3,955,002
II 指定正味財産増減の部									
受取寄付金	0	900,000	0	0	0	900,000	0		900,000
基本財産受取利息	0	0	0	0	2,117,126	2,117,126	0		2,117,126
特定資産受取利息	18	0	0	0	0	18	0		18
一般正味財産への振替額	△ 220	△ 24,752,471	0	0	△ 2,117,126	△ 26,869,817	0		△ 26,869,817
当期指定正味財産増減額	△ 202	△ 23,852,471	0	0	0	△ 23,852,673	0		△ 23,852,673
指定正味財産期首残高	-	-	-	-	-	369,583,946	-		369,583,946
指定正味財産期末残高	-	-	-	-	-	345,731,273	-		345,731,273
III 正味財産期末残高	-	-	-	-	-	349,686,275	-		349,686,275

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法について

満期保有目的の債券……償却原価法（定額法）によっている。

なお、取得価格と債券金額との差額について重要性が乏しい満期保有目的の債券については、適用していない。

(2) 固定資産の減価償却方法について

定額法による減価償却を実施している。

(3) 引当金の計上基準について

退職給付引当金には、期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上している。

(4) 消費税等の会計基準について

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券等	314,595,000	2,117,126	2,117,126	314,595,000
小 計	314,595,000	2,117,126	2,117,126	314,595,000
特定資産				
退職給付引当資産	22,709,689	3,875,640		26,585,329
国際貢献支援事業特定資産	1,835,382	18	220	1,835,180
日本語学習支援基金事業特定資産	53,153,564	900,000	24,752,471	29,301,093
小 計	77,698,635	4,775,658	24,752,691	57,721,602
合 計	392,293,635	6,892,784	26,869,817	372,316,602

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの充当 額)	(うち一般正 味財産からの 充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
投資有価証券等	314,595,000	314,595,000	0	-
小 計	314,595,000	314,595,000	0	-
特定資産				
退職給付引当資産	26,585,329	-	-	26,585,329
国際貢献支援事業特定資産	1,835,180	1,835,180	0	-
日本語学習支援基金事業特定資産	29,301,093	29,301,093	0	-
小 計	57,721,602	31,136,273	0	26,585,329
合 計	372,316,602	345,731,273	0	26,585,329

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	22,381,389	19,770,012	2,611,377
電話加入権	1,148,040	0	1,148,040
合 計	23,529,429	19,770,012	3,759,417

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	帳簿価額	時価	評価損益
愛知県債	100,000,000	101,910,000	1,910,000
大阪市債	100,000,000	98,840,000	△1,160,000
利付国債	9,990,800	9,876,000	△114,800
堺市債	100,000,000	98,743,400	△1,256,600
大阪府債	4,492,125	4,555,080	62,955
合 計	314,482,925	313,924,480	△558,445

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
令和2年度愛知県国際交流協会運営費補助金	愛知県	0	151,573,109	151,573,109	0	-
合 計		0	151,573,109	151,573,109	0	

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息の振替額	2,117,126
特定資産受取利息の振替額	18
国際貢献支援事業の実施による振替額	202
日本語学習支援基金事業の実施による振替額	24,752,471
合 計	26,869,817

## 附属明細書

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記で記載しているため省略。

### 2. 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	22,709,689	3,875,640	0	0	26,585,329

# 財 産 目 録

令和3年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
<b>(流動資産)</b>			
現金	手元保管	運転資金	0
預金	普通預金		
	三菱UFJ銀行愛知県庁出張所	運転資金	23,828,029
未収金	県内市町国際交流協会	あいち生活便利帳等	325,543
前払金	愛知県社会福祉協議会	ボランティア活動保険	41,250
<b>流動資産合計</b>			<b>24,194,822</b>
<b>(固定資産)</b>			
<b>基本財産</b>			
投資有価証券	愛知県債(みずほ証券)	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用。	100,000,000
	大阪市債(大和証券)		100,000,000
	利付国債(大和証券)		9,990,800
	堺市債(野村証券)		100,000,000
	大阪府債(野村証券)		4,492,125
預金	定期預金		
	三菱UFJ銀行愛知県庁出張所		112,075
<b>特定資産</b>			
退職給付引当資産	定期預金	職員の退職金の支払いに備えた積立資産。	26,585,329
	三菱UFJ銀行愛知県庁出張所		
国際貢献支援事業 特定資産	普通預金	公益目的保有財産であり、国際貢献支援事業に使用。	1,835,180
	三井住友信託銀行名古屋営業部		
日本語学習支援基金事業 特定資産	普通預金	公益目的保有財産であり、日本語学習支援基金事業に使用。	29,301,093
	三菱UFJ銀行愛知県庁出張所		
<b>その他の固定資産</b>			
什器備品	スチールパーティション他	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用。	2,611,377
電話加入権	電話加入権	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用。	1,148,040
<b>固定資産合計</b>			<b>376,076,019</b>
<b>資産合計</b>			<b>400,270,841</b>
<b>(流動負債)</b>			
未払金	事業実施等に対する未払額		23,586,073
預り金	住民税ほか	住民税等の預り金	404,164
前受金	賛助会費	賛助会費の前受金	9,000
<b>流動負債合計</b>			<b>23,999,237</b>
<b>(固定負債)</b>			
退職給付引当金	職員に対するもの	職員の退職金の支払いに備えたもの。	26,585,329
<b>固定負債合計</b>			<b>26,585,329</b>
<b>負債合計</b>			<b>50,584,566</b>
<b>正味財産</b>			<b>349,686,275</b>



# 監 事 の 意 見 書

公益財団法人愛知県国際交流協会定款第8条第1項の規定に基づき、  
令和2年度事業報告及び決算報告について監査しましたところ、適正に  
執行されていることを認めます。

令和3年6月2日

監 事      相 津 晴 洋      ⑩

監 事      宇 佐 見 比 呂 志      ⑩